



中部電力パワーグリッド

参考資料3-4



2026年度出力制御見通し

2026年10月6日
中部電力パワーグリッド株式会社

2026年度の再エネ出力制御見通し

○ 2026年度の再エネ出力制御量について、再算定を実施した。

【算定条件】

○8月以降の見通しについては、2026年4月から6月の需要実績、太陽光・風力の設備量、連系線活用率の実績などを踏まえ、以下の点を修正した。

○需要：前回計画より約1%減少

○太陽光設備量：至近の設備導入量の状況を反映

○連系線活用率：前回計画より受電15%減少（20% → 5%）

○供給力：揚水の作業計画等を最新計画に更新

2026年度当初想定に対する増減分析

- 2026年度当初想定と比較し、4～7月の出力制御実績は日射量増および需要減等により増加した。
- 一方で、8月以降の見通しについては、連系線潮流（受電）の減少により出力制御が減少する見込み。

項目	内容
需要	・4～6月実績：当初想定の需要電力量に対して約1%減少 ・8月以降見通し：4～6月実績を反映し、約1%減少で再算定実施
連系線活用率	・4～6月実績：当初想定を受電20%に対して実績は受電5%程度 ・8月以降見通し：4～6月実績を反映し、5%で再算定実施
太陽光、風力	・4月実績：発電実績は、概ね当初想定どおり ・5～6月実績：発電実績は、5月は当初想定を約11%上回り、6月は約14%下回った ・8月以降見通し：至近の設備導入量の状況を反映し、再算定実施
揚水、原子力、火力	・4～6月実績：出力制御量に大きく影響する作業計画の変更はなし ・8月以降見通し：最新の作業制約を踏まえ、揚水可能量を修正し、再算定実施 ・原子力、火力は変更なし
その他	—

2026年度短期見通し(見直し)について

<2026年度出力制御見通し>

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕※3					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2026年度見込み	0.70% (5,595万kWh) 〔太陽光：0.74% 風力：0.10%〕	0.17% (164万kWh) 〔太陽光：0.18% 風力：0.09%〕	0.18% (514万kWh) 〔太陽光：0.18% 風力：0.09%〕	0.20% (271万kWh) 〔太陽光：0.22% 風力：0.09%〕	0.50% (6,544万kWh) 〔太陽光：0.52% 風力：0.10%〕	0.26% (4,536万kWh) 〔太陽光：0.27% 風力：0.09%〕
(参考) 2026年度 エリア全体オンライン化	0.25% (1,443万kWh) 〔太陽光：0.26% 風力：0.18%〕		0.26% (1,588万kWh) 〔太陽光：0.26% 風力：0.18%〕	0.25% (328万kWh) 〔太陽光：0.26% 風力：0.18%〕	0.26% (3,360万kWh) 〔太陽光：0.26% 風力：0.18%〕	0.19% (3,360万kWh) 〔太陽光：0.19% 風力：0.18%〕

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフライン相当の8時間停止に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する制御量の割合。

また、出力制御電力量については実際の制御時間で評価した値。（オフライン本来制御およびオンライン本来制御・代理制御の合計）

※3 四捨五入の関係で数字が合わない場合がある。

<2026年度出力制御見通し(全設備)の内訳>

	実績	見通し	
	4～7月	8～3月	年度合計
全設備	0.65% (4,259万kWh) 〔太陽光：0.66% 風力：0.35%〕	0.03% (277万kWh) 〔太陽光：0.03% 風力：0.01%〕	0.26% (4,536万kWh) 〔太陽光：0.27% 風力：0.09%〕

参考 | 2026年度短期見通しについて

<2026年度出力制御見通し>

第6回次世代電力系統WG報告資料抜粋

	出力制御率（制御電力量）〔太陽光・風力それぞれの出力制御率〕 ※3					
	旧ルール		新ルール	無制限・無補償ルール	制御対象設備計	全設備※2
	オフライン※1	オンライン				
2026年度見込み	0.40% (3,351万kWh) 〔太陽光：0.42% 風力：0.08%〕	0.06% (50万kWh) 〔太陽光：0.06% 風力：0.01%〕	0.06% (170万kWh) 〔太陽光：0.06% 風力：0.01%〕	0.10% (95万kWh) 〔太陽光：0.10% 風力：0.05%〕	0.28% (3,666万kWh) 〔太陽光：0.29% 風力：0.07%〕	0.15% (2,647万kWh) 〔太陽光：0.16% 風力：0.07%〕
(参考) 2026年度 エリア全体オンライン化	0.13% (773万kWh) 〔太陽光：0.13% 風力：0.13%〕		0.13% (803万kWh) 〔太陽光：0.13% 風力：0.13%〕	0.13% (122万kWh) 〔太陽光：0.13% 風力：0.13%〕	0.13% (1,698万kWh) 〔太陽光：0.13% 風力：0.13%〕	0.10% (1,698万kWh) 〔太陽光：0.10% 風力：0.13%〕

※1 オンライン代理制御分を含む。オンライン代理制御分は、オフライン相当の8時間停止に換算した値。

※2 出力制御対象外設備を含む総発電量に対する制御量の割合。

また、出力制御電力量については実際の制御時間で評価した値。（オフライン本来制御およびオンライン本来制御・代理制御の合計）

※3 四捨五入の関係で数字が合わない場合がある。

電源（太陽光、風力）のオンライン化

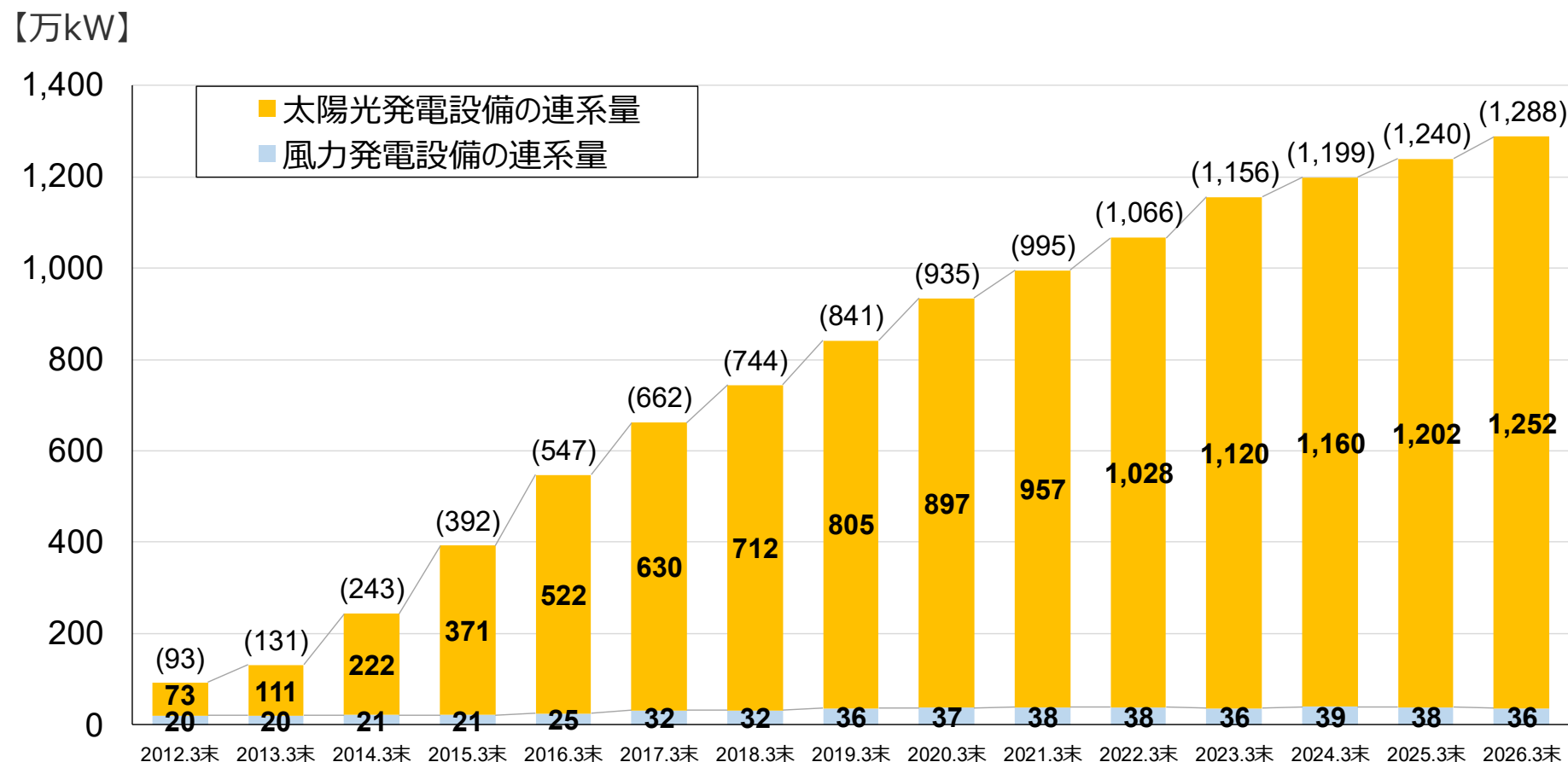
- 旧ルール事業者に対してはオンライン化のメリットを説明し、出力制御機能付PCS等への切替の促進活動を継続して実施。これにより、至近の出力制御の応答率（履行率）の改善にも繋がる。

項目		2026年3月末	(参考) 2025年9月末
太陽光	① オンライン化率 $((② + ④)/(② + ③ + ④))$	68.4%	65.3%
	② 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	286.6万kW	272.4万kW
	③ 旧ルール、オフライン事業者	161.9万kW	173.0万kW
	④ オンライン制御可能な旧ルール事業者	64.0万kW	53.2万kW
	⑤ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(④/(③ + ④))$	28.3%	23.5%
風力	⑥ オンライン化率 $((⑦ + ⑨)/(⑦ + ⑧ + ⑨))$	10.6%	10.3%
	⑦ 新・無制限無補償ルール、オンライン事業者	2.6万kW	2.6万kW
	⑧ 旧ルール、オフライン事業者	32.2万kW	33.2万kW
	⑨ オンライン制御可能な旧ルール事業者	1.2万kW	1.2万kW
	⑩ 旧ルール事業者のオンライン切替率 $(⑨/(⑧ + ⑨))$	3.6%	3.5%

※ 「旧ルール高圧500kW以上・特別高圧の事業者。新ルール・無制限無補償ルール事業者（太陽光は、10kW以上）」について算定。

(参考) 再エネの導入状況

○ 中部エリアの太陽光・風力発電設備の連系量は、2026年3月末で1,288万kW（太陽光1,252万kW、風力36万kW）となった。



余剰買取制度 →
 RPS制度 →

FIT制度

※ 四捨五入の関係で数字が合わない場合がある。



中部電力パワーグリッド